

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	総務	係	事務事業No.	121112
事務事業名	八坂支所一般管理経費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 11
施策目標							
後期計画掲載頁		頁	個別計画				頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
八坂支所庁舎等の保守管理と一般事務費

事業の目的
施設の定期的な保守管理により、安全で快適な施設環境を保つ。
一般事務費の管理を行い、事務費の節減に努める。

事業内容

- ・庁舎の保守管理のため、電気、浄化槽、エレベーター、消防施設、自動ドアなどの法定定期点検等を業者に委託し、安全で安定した設備管理を行うとともに、故障設備等の早期発見に努める。また、夜間宿直の廃止に伴う警備保障業務を委託し防犯管理を行っている。
- ・文書配達員を雇用し文書配達を行うことで、本庁との文書交換の効率化と郵送料の削減に努める。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	13,608 千円	15,223 千円	14,208 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	13,608 千円	15,223 千円	14,208 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	電気保安業務点検委託	回/年	12	12	12	12	100.0%	12
	②	浄化槽点検業務委託	回/年	1	1	1	1	100.0%	1
	③	エレベーター点検業務委託	回/年	12	12	12	12	100.0%	12
2. 数値で表せない効果		（指標 ）定期的な定期点検、メンテナンス等により、安全、衛生的な施設管理ができています。							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

- ・定期的な経常経費であるため比較が難しい。事業費は、施設保守のための修繕費の増減等により変動している。
- ・エレベーターの点検は、設置から17年が経過していることから、年1回の法定点検から遠方監視装置による毎月点検及び年4回の定期点検を実施するよう変更し、より安全性を高めた。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	法律に準拠した点検の方法、回数、また施設や設備の老朽化の状況等判断しながら、適正で計画的な保守点検を実施し、安全かつ衛生的な施設運営管理に努めたい。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	総務	係	事務事業No.	121113
事務事業名	八坂支所車両管理経費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	項	目
施策目標							
後期計画掲載頁		頁	個別計画				頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要
八坂支所で管理している公用車の定期点検、車検整備等の維持管理

事業の目的
公用車の定期点検の実施により、安全な運行管理を行う。

事業内容

- ・八坂支所管理の公用車の共済保険料と車検整備及び定期点検整備実施。
- ・公用車のタイヤ交換

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	991 千円	719 千円	793 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	991 千円	719 千円	793 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	支所公用車	台	13	13	13	13	100.0%	13
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）定期点検、車検により、車両の安全が確保されている。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 ・共済費、車検代、点検料は同額であるが、タイヤなどの消耗品や車両の経年劣化による修繕により、事業費の変動がある。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	2	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 15 / 18	<ul style="list-style-type: none"> ・走行距離は少ないが、年数の経過した車両が増加傾向にある。冬季の塩カル対策にこまめな洗車等により、耐用年数の継続に努める。 				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	総務	係	事務事業No.	12115
事務事業名	八坂地域振興事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 11
施策目標	地域の一体感の早期確立						
後期計画掲載頁	42	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要

- 地域づくり委員会の開催により、市からの諮問に答申を行うとともに、地区内の課題について市に提言を行う。
- 地域振興車両の運行により交通弱者の交通を確保する。
- 地域振興団体等への地域活動支援する。
- 過疎地域における子育て世代への1ターン者への入居支援。

事業の目的

- 合併後の一体感の早期確立と、活気と特色ある地域づくり支援を行う。
- 地域振興バスの運行により、交通弱者の交通の確保をはかる。
- 地域の芸術文化伝承と保存を推進する。
- 過疎地域における空き家への子育て世代1ターン者の入居支援を行う。

事業内容

- 地域づくり委員会、地域づくり協議会を開催し、地区内の振興策を行うとともに、諸問題への対応を行う。
- 診療所の送迎診療、敬老会等の行事の送迎臨時バスの運行を行い、交通弱者である高齢者の足の確保を図った。
- 地域づくり協議会、八坂首領保存会等への補助金を交付することにより、地域振興と特色ある地域活動の支援を行った。
- 地区内の空き家への子育て世帯の1ターン者へ過疎地域定住促進奨励金を交付することで、定住促進及び地域の活性化を図った。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費	総事業費（決算額）	8,856 千円	8,686 千円	4,097 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	8,856 千円	8,686 千円	4,097 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 地域づくり委員会	回	2	3	1	2	50.0%	2
② 送迎診療	回	83	83	83	83	100.0%	83
③							

成果指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）H26年の合併10年目に地域づくり協議会が、自ら企画立案イベントを開催したことにより、今年も自らが企画して“八坂夏まつり”の定着化が図られつつある。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 過疎対策事業として、1ターン者の受け入れを促進し、地域活性化事業として“八坂夏まつり”の実施について取り組んでいる。これらは、ソフト事業であり、他の事業とは比較が難しい。また、高齢化が進む中で地域振興施策を進めることに苦慮している。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	・過疎地域就職促進奨励金及び起業支援事務事業補助金が活用されていないことから、PR方法を検討し、地域内の企業などにPRを積極的におこなっていく。			
	評価点合計	17	18			

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	121118
事務事業名	八坂定住促進事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 11
施策目標	移り住む人をやさしく受け入れるまち						
後期計画掲載頁	48	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	24	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
若者の流失等、定住人口が減少する中で定住対策は急務な状況にある。特に集落機能の低下が進んでいる地域が見受けられ、集落の活性化が必要な状況にあることから、拠点集落内に住宅を建設し、定住を促進しながら集落機能の維持、強化を図る。

事業の目的
定住人口の減少や少子高齢化が急速に進行している中、地域活力の維持・継続を図るため、拠点集落にI・Uターン者等の定住を促進させるため定住促進住宅の整備を図り、地域に密着した定住促進対策を推進する。

事業内容
○定住促進住宅を拠点となる集落内に建設する。
・H25 造成1箇所 用地買収1箇所
・H26 造成1箇所 住宅建設3棟
・H27 造成1箇所 住宅建設2棟

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	8,103 千円	63,408 千円	39,124 千円
	国庫支出金		54,000 千円	
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	8,103 千円	9,408 千円	39,124 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	定住促進住宅	戸	16	19	21	21	100.0%	23
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	入居世帯数	世帯		3	2	2	100.0%	2
	②	入居者数	人		12	5	5	100.0%	6
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
定住促進住宅の建設は、地域づくり協議会の中で、空き家対策と併せて検討し進めて来た経過がある。平成28年度までに、7戸が建設され、子育て世代の入居もあり、一定の成果を上げることができた。今後は、尚一層集落強化を図るため、住宅への入居の状況を勘案し、地域住民のニーズを反映させながら、定住促進住宅事業の推進を図っていく。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	住宅は、すべての集落内に建設することは不可能であるため、受入体制が整った地域自治振興会内の拠点となる集落を中心に建設し、定住を促進しながら集落機能の維持、強化を図る。 平成28年度は、昨年度に引き続き、野平地区へ2戸建設し、平成29年度は矢下地区へ2戸建設予定。以降は、入居者のニーズや動向を踏まえ、地域自治振興会の受入要望等を考慮しながら、定住建設について検討していく。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	121119
事務事業名	明日香荘管理運営費				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	2	項 1 目 11
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	48	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	27	年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要
 明日香荘は建設後10年以上経過していることから、経年劣化による施設、設備等の修繕が必要となっている。指定管理者と協議しながら計画的に維持管理を行う。

事業の目的
 明日香荘の適正な管理を行うことにより、利用者の利便性を図る。

事業内容
 施設及び設備等の修繕については、指定管理者と協議する中で計画的に行い、明日香荘の適正な管理運営を進める。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	千円	千円	1,209 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	千円	千円	1,209 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①						—	—	—
	②						—	—	—
	③						—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 単年度事業（屋根修繕工事の設計費）のため、比較はできない。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	明日香荘は、市民の健康増進に資するための保養施設であるとともに、地域間交流の促進、観光拠点施設として、平成28年4月1日から指定管理期間を5年間に更新し、健全な施設運営を図る。また、経年劣化に伴う設備等については、指定管理者と協議しながら計画的な修繕を行い維持管理を行っていく。また、平成28年度からは、一般会計で経理することとし、平成27年度で特別会計を廃止する。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	17138
事務事業名	八坂観光施設管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	7	項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 八坂地区の観光施設は、鷹狩山展望施設やさざなみ、体験館などの指定管理施設をはじめ公衆トイレなどの施設がある。各施設とも、経年劣化により建物・設備などの更新時期を迎えている状況。快適な施設利用を図るために計画的に修繕等の維持管理を行う。

事業の目的
 施設利用者が快適に利用できるよう、施設及び設備等の維持管理に努める。

事業内容
 各施設とも経年劣化により、老朽化した設備や備品等を計画的に修繕し有効利用を図る。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	4,993 千円	6,286 千円	6,044 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	4,993 千円	6,286 千円	6,044 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）指定管理者や施設管理受託者等と協議し、施設及び設備等の修繕を行い、施設利用者が快適に利用できるよう配慮するとともに、利便性を図る。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 各施設とも、経年劣化が進み修繕箇所が増えている。さらに、突発的な緊急修繕への対応にも苦慮している。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	各施設とも、定期的な施設巡回や指定管理者及び施設管理受託者との連携を図りながら計画的な修繕等の維持管理を行う。また、指定管理施設のさざなみについては、施設利用者の動向を踏まえながら、指定管理業務の範囲見直しも含め次期の指定管理更新に向け検討していく。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	171318
事務事業名	八坂温泉宿泊施設管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	7	項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	25	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
温泉宿泊施設事業特別会計への繰出し金

- 事業の目的
- ・明日香荘の施設・設備等の修繕
 - ・送迎用のバスのリース
 - ・室内ゲートボール場の維持管理

事業内容
温泉宿泊施設事業特別会計への繰出金

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	4,743 千円	8,246 千円	17,147 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	4,743 千円	8,246 千円	17,147 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①						—	—	—
	②						—	—	—
	③						—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

施設及び設備の修繕は、緊急性の高いものから計画的に改修しているが、設備等の劣化などによる突発的な故障への対応は、多額な費用がかかる場合があり苦慮している。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	明日香荘は、健康増進に資するための保養施設であるとともに、地域間交流の促進、観光拠点施設として、平成28年4月1日から指定管理期間を5年間に更新し、健全な施設運営を図る。また、経年劣化に伴う設備等については、指定管理者と協議しながら計画的な修繕を行い維持管理を行なっていく。また、平成28年度からは、一般会計で経理することとし、平成27年度で特別会計を廃止する。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	18513
事務事業名	八坂住宅管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	8	項 5 目 1
施策目標	移り住む人をやさしく受け入れるまち						
後期計画掲載頁	48	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	25	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要
定住促進住宅の維持管理

事業の目的
定住促進ビジョンを基に、子育て世代や若者世代をメインターゲットに地域への定住促進と地域活性化を図る。

事業内容
 明野団地（平成9年度建設 木造平屋建 2戸） 野平団地（平成13年度建設 木造平屋建 2戸）
 明野集合住宅（平成11年度建設 低層耐火構造 1棟4戸） 大門団地（平成12年度建設 木造平屋建 1戸）
 野平団地（平成9年度建設 簡易耐火構造平屋建 2戸） // （平成12年度建設 木造平屋建 1戸）
 // （平成11年度建設 木造平屋建 2戸） 切久保団地（平成26年度建設 木造2階建 2戸）
 // （平成12年度建設 木造平屋建 2戸） 矢下団地（平成26年度建設 木造2階建 1戸）
 // （平成27年度建設 木造2階建 2戸） ※以上21戸の定住促進住宅の修繕等の維持管理を行っている。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	650 千円	1,190 千円	1,190 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	650 千円	1,190 千円	1,190 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	定住促進住宅	戸	16	19	21	21	100.0%	23
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
住宅管理は、概ね良好であるが、経年劣化により、屋根塗装等の修繕の発生が見込まれる。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	平成25年度より条例改正によりメインターゲットである子育て世代の皆さんが入居しやすくなるよう入居条件の変更や家賃の減額を行い定住促進を図っている。入居者の利便性を図るため、快適な住環境のための維持管理に努めていく。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	751111
事務事業名	八坂温泉宿泊施設管理費				会計	温泉宿泊施設事業特別会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	1	項 1 目 1
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	25	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 明日香荘は建設後10年以上経過していることから、経年劣化による施設、設備等の修繕が必要となっている。指定管理者と協議しながら計画的に維持管理を行う。

事業の目的
 明日香荘の適正な管理を行うことにより、利用者の利便性を図る。

事業内容
 施設及び設備等の修繕については、指定管理者と協議する中で計画的に行い、明日香荘の適正な管理運営を進める。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	4,742 千円	8,242 千円	15,288 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	4,742 千円	8,242 千円	15,288 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①						—	—	—
	②						—	—	—
	③						—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 施設及び設備の修繕は、緊急性の高いものから計画的に改修しているが、設備等の劣化などによる突発的な故障への対応は、多額な費用がかかる場合があり苦慮している。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	やり方改善	明日香荘は、市民の健康増進に資するための保養施設であるとともに、地域間交流の促進、観光拠点施設として、平成28年4月1日から指定管理期間を5年間に更新し、健全な施設運営を図る。また、経年劣化に伴う設備等については、指定管理者と協議しながら計画的な修繕を行い維持管理を行っていく。また、平成28年度からは、一般会計で経理することとし、平成27年度で特別会計を廃止する。				
	評価点合計	15	18				